



楽しいプール 感染予防にも気を付けて！

感染症発生動向速報

(平成30年第25週分・6月18日～6月24日)

平成30年6月27日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

《インフォメーション》

●プールと感染症

プール開きの季節となりました。プール（ビニールプールなどの簡易プールを含む）を利用することで感染するおそれがある主な病気は、右表のとおりです。プールサイド、脱衣所、トイレにおいても、タオルの共用や不十分な手洗いにより、感染が広がるので、注意しましょう。

プールの衛生管理も重要です。管理者は、塩素濃度の確認などプール水の衛生状態に気をつけ、シャワーなどの付帯設備を定期的に点検し、支障がないことを確認しましょう。

保育所、幼稚園、家庭では、簡易プールで水浴びをすることがあると思います。簡易プールは塩素管理が難しいので、利用の都度水を入れ替えましょう。利用者は、次のことに注意しましょう。

プールを利用することで 感染するおそれがある主な病気
・咽頭結膜熱(プール熱)
・手足口病
・ヘルパンギーナ
・流行性角結膜炎(はやり目)
・急性出血性結膜炎
・伝染性軟属腫(水いぼ)
・伝染性膿痂疹(とびひ)
・腸管出血性大腸菌感染症(O157など)
・アタマジラミ症

- ▶ 発熱や下痢など、体調不良の時はプールを利用しないようにしましょう。
- ▶ 消毒用塩素は、水中に汚れがあると消毒効果が落ちます。プールに汚れを持ち込まないために、プールに入る前やトイレの後は、手洗いおよびシャワーで十分に体を洗いましょう。
- ▶ 乳幼児を連れた保護者は、お子さんを定期的にトイレに連れて行きましょう（**お子さんがトイレに行きたいと言ったときには、既に排便している場合があります。**）。
- ▶ タオル、クシ、ブラシの共用はやめましょう。

感染を防いで 楽しい水遊び！

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 6件 (①第13週診断分：70歳代、女性 ②第24週診断分：90歳代、女性
③④ともに70歳代、女性 ⑤80歳代、男性 ⑥80歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①40歳代、女性、O128、VT1VT2
②60歳代、女性、O26、VT1)
- 五類感染症 急性脳炎 1件 (10歳未満、男性)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第24週診断分：70歳代、女性、C群)
梅毒 1件 (第24週診断分：40歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1位	感染性胃腸炎	6.38	6.21	↑
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.38	1.62	↑
3位	咽頭結膜熱	0.90	0.83	↑
4位	突発性発しん	0.41	0.52	↓
5位	マイコプラズマ肺炎	0.40	0.00	↑
6位	伝染性紅斑	0.38	0.21	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第25週 平成30年6月18日～平成30年6月24日）

分類	疾患	今週報告分（第25週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	1	1			2	4	5	8	29	10	39	91
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1	1		2			2	1	4	7
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症							1	1	2	2	17	23
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									1		5	6
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎					1	1	1				1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4		3	2	3	12
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	4	4	12	24
	水痘（入院例）							1		1		1	3
	梅毒									1		5	6
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳											1	1
	風しん											1	1
定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ	5				1	6	2,229	1,824	3,485	2,441	5,336	15,315
		0.71				0.06	0.13						
	RSウイルス感染症	1		1		3	5	35	20	50	24	215	344
		0.25		0.13		0.30	0.17						
	咽頭結膜熱	4	2	12		8	26	142	51	203	20	246	662
		1.00	0.67	1.50		0.80	0.90						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	5	16	12	34	69	96	82	413	184	535	1,310
		0.50	1.67	2.00	3.00	3.40	2.38						
	感染性胃腸炎	21	33	30	10	91	185	667	488	753	164	1,905	3,977
		5.25	11.00	3.75	2.50	9.10	6.38						
	水痘	1	1	2		1	5	11	4	84	48	77	224
		0.25	0.33	0.25		0.10	0.17						
	手足口病			1		3	4	1	8	21	12	97	139
				0.13		0.30	0.14						
	伝染性紅斑			6	2	3	11	3	1	73	36	22	135
				0.75	0.50	0.30	0.38						
	突発性発しん	1	2	4	3	2	12	36	26	103	31	80	276
		0.25	0.67	0.50	0.75	0.20	0.41						
	ヘルパンギーナ		4				4	1	5	1	1	2	10
			1.33				0.14						
流行性耳下腺炎					1	1	2	5	12	3	17	39	
					0.10	0.03							
急性出血性結膜炎										13		13	
流行性角結膜炎							2	11	4	1	3	21	
細菌性髄膜炎					1	1					4	4	
					1.00	0.20							
マイコプラズマ肺炎	2					2	2	2	4	3	7	18	
	2.00					0.40							
クラミジア肺炎										1	1	2	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		2	2	6	13	
インフルエンザによる入院患者（*）							51	55	39	150	94	389	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。